
今でも好きなのに、

彩峰

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

今でも好きなのに、

【Nコード】

N5137I

【作者名】

彩峰

【あらすじ】

俺の名前は、んー・・・必要ないな。

だって、名前よりも大事な事を伝えたいから。

大事だけど、俺らにとっては辛い話。

だけど、今だから分かる事を伝えたい。

今だから分かる。(前書き)

心は弱小なんで、誹謗中傷は勘弁してください！

今だから分かる。

俺達、5年目になるよな？

その間に、沢山喧嘩して傷付け合ったりした。

俺さ、あの時が一番楽しかった。

だって、喧嘩する＝本音を言えてるって事だから。

だけど、お前はとうだったのかな？

喧嘩する度に、くつついては離れてで……。

5年間の間に、どれだけ離れたんだろうな？

離れる度に、俺はお前に嵌っていったのに。

あの時は悲し過ぎて分かんなかったけど、今なら少し分かる。

俺、重かったよ。

初めてお前を知った時も、俺は俺で。

そつえば、俺らの最初の出会い覚えてる？

今から俺なりにお前に話そうと思うんだ。

答え合わせのように、お前が最初の俺を今でも覚えてるかも含めてさ。

今だから分かる。(後書き)

ちよっと、実話系です。

でも、そんなに基づいてません！(笑)

出会い

俺らが出会ったのは、メールだったよな。
いや、この場合出会ったとは違うかな？
まあ、いいや。

お前はゲームが大好きで、ゲームのキャラに恋しちゃうような子だったよな？

メールをくれたと思えば、終始そのキャラの話題。

でも、それでも嬉しかったんだ。

だってさ、お前がすごく活き活きしてたから。

好きな子がキラキラしてるのって傍で感じたいよ、例え自分と関係ない事でも。

その時から、俺は壊れてたのかもしれない。

お前に振り向いて貰おうと、そのキャラに近付こうとしてたんだから。

近付いたら、お前が俺の方を向いてくれる気がした。

そして、確かに振り向いてくれた。

あの時凄く嬉しかったんだ。

本当に嬉しかった。

だから、気付かなかったんだよね。

その幸せが紛い物で、幸せ以上の物が迫ってる事に。

なあ、気付いてたら・・・俺ら変わった？

少なくとも、俺のした事は君を傷付ける行為にならなかったのかな？

出会い（後書き）

全然まだまだ先は長いです。

短いのに長いつて・・・鬼か!?

嘘だと思ってた

俺は自分を偽って、お前に近付きたかったって言ったよな？
でも、お前も偽ってた。

いや、俺が勝手にお前が健康だと思い込んでただけかもしないな。
俺は事実を告げられた時、嘘だと思っただ。

正直……笑えない冗談だって鵜呑みにしなかった。

だって、そうだろ？

メールのやり取りの中でだったけど、普通に書かれていた事を鵜呑
みになんて出来ない。

まして「私、病気なんだ。いつ死ぬか分からないほど進行してる」
って着てもマジになれる訳ない。

だけどそれを言ったら傷付ける気がして、「……そっか」って
返したよ。

俺にとって、悪い冗談だったけど……それでもそれを笑ったら
全てが終わる気がしたから。

あの時、『俺が真面目に受け止めて違う言葉を返信していたら』っ
て思う。

真剣に返してたら、お前は本当の意味で一人で背負わなくて済んだ
と思うんだ。

あのメールから・・・

あのメールから、俺達オカシクなったよ。
ううん、俺の中の何かが崩れたんだ。

俺は俺で、自分を偽ってお前に接してた。
そして、お前はお前で俺に健康状態を黙ってた。
俺らは、お互いに偽ってた。

だけど、俺はお前を責められない。
お前は自分からカミングアウトしたけれど、あ那时的俺はまだカミングアウト出来ずにいたから。

俺はさ、自分勝手だけど・・・誠実でいたかったんだ。
少なくとも、お前が分かる範囲では誠実な人間だと思われたかった。
つか、シヨックじゃない？

自分に近付いて来て仲良くしてる相手が、自分に凄く合わせると
か・・・結構引く。

俺だったら、間違いない。
だから、俺はお前があんなメールをしてからも黙ったまま。
寧ろ、言えないままだったよ。

・・・ごめん。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5137i/>

今でも好きなのに、

2010年11月19日18時30分発行